

クラブ管理運営委員会 活動計画

常任委員長 中村 好孝

《方針》

楽しいクラブ運営を実現するために各自が役割を担い協力しあうことで、例会に参加したくなる雰囲気や帰属意識をつくる。

《計画》

会長方針に基づき、例会親睦委員会・プログラム委員会・友好クラブ委員会の委員が自主的に行動し、クラブをより活性化するための例会親睦運営を計画する。

1. 例会親睦委員会

委員長 森泉 朋子 副委員長 藤原 新一

委員 足立 旬一 一ノ瀬 裕 江尻 猛 大貫 恭嗣 柏原 政人 小林 大二郎
佐伯 外次 三枝 富博 鈴木 晴澄 溝淵 真澄 中山 智晃 長瀬 徹
山崎 辰男 吉田 一紀 伊藤 智晴

《方針》

魅力ある楽しい例会と親睦の企画を実施することで、出席率向上と新入会員の増加を図りクラブの発展につなげるよう、寄与する。

《計画》

いつもの例会場と異なる場所での例会開催や他クラブとの合同例会の開催、趣味やスポーツを通じて会員間の交流を深める。

2. プログラム委員会

委員長 若林 美佳 副委員長 大谷 新一郎

《方針》

会員間の相互理解、クラブの活性化、奉仕活動に対する意識向上、ロータリークラブへの理解を深めるためのプログラムを企画する。

《計画》

- ①地区が推薦する卓話の実施
- ②奉仕活動を実践されている方の外部卓話の企画
- ③ロータリークラブの用語、組織、活動を理解するための卓話の実施
- ④会員の職業に関する内部卓話の実施

3. 友好クラブ委員会

委員長 徳久 京子

《方針》

会長方針に基づき、友好クラブとの交流事業を実施する。

《計画》

- ①金沢北ロータリークラブへの記念式典への参加
- ②鹿屋西ロータリークラブへの訪問

クラブ広報委員会 活動計画

常任委員長 澁谷 直樹

《方針》

積み重ねる例会の記録、会員間の情報共有の為に週報を発行する。
会長方針に基づき、本年度に実施予定の青少年奉仕、国際奉仕を中心に相模原南ロータリークラブの取り組むプロジェクトを以って地域貢献、国際貢献する姿を広く世間にアピールします。

1. 会報委員会

委員長 鈴木 昌彦 副委員長 中村 文子

委員 小方實 小川仁司 柏原政人 桑田俊夫 三枝富博 須坂知恵 鈴木雅朗
竹村克二 中村辰雄 松井克之 松山隆夫 宮崎雄一郎

《方針》

- ①週報とホームページを通じて、ロータリークラブの情報を伝えていく。
- ②週報とホームページを通じて、クラブの例会の様子や活動計画を紹介していく。

《計画》

- ①週報とホームページを定期的に更新し、常に最新の情報を発信する。

2. 公共イメージ委員会

委員長 小川 仁司 副委員長 長瀬 徹

委員

《方針》

- ①ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上に務める。
- ②相模原南ロータリークラブの活動を内外に発信する。

《計画》

- ① 奉仕プロジェクトを始め、若い世代や他のクラブとの交流活動を発信し認知度向上を図る。
- ② 「エンド・ポリオ・ナウ」キャンペーン、米山奨学生、青少年交換留学生の存在等、様々なロータリークラブの活動や内容をタウン誌、地域メディアを通じ定期的に発信していく。

会員組織委員会 活動計画

常任委員長 黒河内 彰子

《方針》

- ①会員増強、会員維持に努める。
- ②会長方針に基づき、女性会員、30代、40代の会員の入会も意識し進めていく。
- ③新入会員に対して情報委員会を開催し、ロータリークラブの基本的なルール、義務などを説明し、クラブに溶け込み馴染んでいけるようフォローする。

1. 会員増強委員会

委員長 足立 旬一 副委員長 三枝 富博

《方針》

- ①会長方針に基づき、世界に希望を生み出せる活動を推進する。
- ②女性会員・30、40代の会員増強を図り、クラブ全体の活性化を図る。

《計画》

- ①純増で2名以上の会員増強を目指す。
- ②女性会員及び30、40代の会員入会に力点を置く。
- ③新入会員入会後のフォローアップを、クラブ全体で促進する。
- ④既存会員への心配りも大切にする。

2. 会員選考・職業分類委員会

委員長 松井 克之 副委員長 大貫 恭嗣

《方針》

会員増強委員会と連携して、会員増強委員会から推薦された候補者を速やかに選考する。

《計画》

善良さ、高潔さ、リーダーシップを備え、地域社会で高い評価がされている人材を選考する。

3. ロータリー情報委員会

委員長 岩本 勉 副委員長 一ノ瀬 裕

委員 大谷 新一郎 黒河内 三郎

《方針》

新会員、入会3年未満の会員に対し、ロータリークラブの活動について有益となる情報を提供するとともにフォローアップを行っていく。

《計画》

- ①入会3年未満の会員を対象としたロータリー情報委員会を開催する。
- ②地区、他クラブとの交流並びに情報の共有を積極的に進める。

基金プログラム委員会 活動計画

常任委員長 山田 修

《方針》

- ①ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会への会員の理解を深める。
- ②ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会に対して寄付だけでなく活動に参加する。
- ③将来、社会で活躍し、日本と母国の架け橋となる優秀な留学生を支援する。

1. ロータリー財団委員会

委員長 小林 大二郎 副委員長 青木 亜也

《方針》

- ①年次基金への会員一人当たりの目標寄付金額（200ドル以上）を達成する。
- ②奉仕活動と連動してエンドポリオ募金（一人当たり40ドル以上）を実施する。
- ③恒久基金1000ドルを1名以上達成する。
- ④国際奉仕を行うための短期的・長期的な資金確保計画を行う。

《計画》

財団月間（11月）に財団学友や地区委員の卓話を実施し、ロータリー財団への理解を深める。
地区補助金説明会及びグローバル補助金説明会に参加し、補助金申請の準備を行う。

2. 米山奨学委員会

委員長 小方 實 副委員長 宮崎 雄一郎

《方針》

会員一人当たりの目標額（20,000円以上）を達成する。
米山留学生との交流を図る。

《計画》

米山月間（10月）に留学生または地区委員の卓話を実施し、米山奨学制度への理解を深める。

奉仕プロジェクト委員会 活動計画

常任委員長 杉崎 信一

《方針》

R I 会長テーマ「世界に希望を生み出そう」です。奥橋会長が掲げた奉仕活動を検討、協議し、実践していく年度にいたします。

1. 社会・国際奉仕委員会

委員長 中村 辰雄 副委員長 小野田 勝宏

委員 大谷 新一郎 小川 仁司 小林 大二郎 藤原 新一 市川 孝幸

《方針》

日本文化に触れる奉仕活動を通じて、地域社会に貢献すると同時に会員のロータリー活動の充実を図る。

《計画》

- ・姉妹地区 3 6 6 2 地区韓国済州島ロータリークラブとの青少年交流プログラムの開催（令和 6 年 1 月 韓国より日本へ 令和 6 年 3 月 日本より韓国へ）
- ・相模原能に留学生や地域の方を招待し、日本文化を伝える。（3 / 1 6）
- ・境川クリーンアップ作戦への参画（5 / 2 6）
- ・相模大野駅周辺ごみゼロ運動（案）の開催（開催未定）
- ・SSP サイドスタンドプロジェクトへの協力
- ・次期国際奉仕活動の調査研究。

2. 職業奉仕委員会

委員長 柏原 政人 副委員長 青木 亜也

《方針》

熟成された社会・情報の過多には、世代を問わず、将来のライフプランに不安を持つ人びとに撫育的奉仕活動を目指します。

《計画》

- ・相模女子大学高等部（令和 6 年 1 月もしくは 3 月開催）

3. 青少年奉仕委員会

委員長 鈴木 晴澄 副委員長 溝渕 真澄

委員 岩本 勉 小方 實 市川 孝幸

《方針》

地域の青少年の成長と育成に寄与する取り組みを行う。

《計画》

- ・幼児、児童サッカー教室の開催（2 月）
- ・米山奨学生を受け入れ
- ・ふるさとコンサートへの協力
- ・次期青少年育成事業の調査研究。